

第44期（2025年4月1日から2026年3月31日まで）

貸借対照表及び個別注記表

三浦アクアテック株式会社

貸借対照表

(2026年3月31日現在)

三浦アクアテック株式会社

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	4,211,659	流動負債	1,376,703
現金及び預金	679,046	買掛金	528,781
売掛金	751,443	短期借入金	550,000
製品	608,752	未払金	30,701
仕掛品	113,706	未払費用	38,689
原材料及び貯蔵品	1,980,220	未払法人税等	88,970
前払費用	1,288	未払事業所税等	11,425
未収入金	77,126	預り金	6,342
その他	75	賞与引当金	85,788
固定資産	560,490	未払消費税	18,634
有形固定資産	455,508	設備未払金	17,368
建物	16,565	固定負債	508,649
機械装置	270,391	長期借入金	500,000
車両運搬具	3,747	役員退職慰労引当金	5,710
工具器具備品	28,806	繰延税金負債	2,939
建設仮勘定	135,998	負債合計	1,885,353
無形固定資産	744	(純資産の部)	
ソフトウェア	525	株主資本	2,886,796
その他	218	資本金	50,000
投資その他の資産	104,238	利益剰余金	2,836,796
関係会社株式	500	利益準備金	12,500
長期前払費用	422	その他利益剰余金	2,824,296
前払年金費用	87,477	繰越利益剰余金	2,824,296
繰延税金資産	15,838	内当期純利益	298,634
資産合計	4,772,150	純資産合計	2,886,796
		負債・純資産合計	4,772,150

有形固定資産の減価償却累計額 1,620,464 千円

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

評価基準は原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)によっております。

製品、半製品、仕掛品	個別法
原材料	総平均法
貯蔵品	最終仕入原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産（リース資産は除く）

定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	8～31 年
機械装置	2～12 年
車両運搬具	4～ 7 年
工具、器具及び備品	2～12 年

②無形固定資産（リース資産は除く）

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5 年）に基づいております。

③リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(3) 重要な引当金の計上方法

①賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、当期の負担すべき支給見込額を計上しております。

②役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づき当事業年度末における要支給額を計上しております。

③退職給付引当金(前払年金費用)

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異については、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(4 年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。

過去勤務費用については、その発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(4 年)による定額法により費用処理しております。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度末における普通株式の発行済株式の数

期末発行済株式数 1,000 株

(2) 当事業年度末における自己株式の数

該当ありません。

(3) 配当に関する事項

① 配当金支払額

該当ありません。

② 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

該当ありません。

(4) 当事業年度末日における新株予約権に関する事項

該当ありません。